

農作物施肥指導基準

平成23年3月

山梨県農政部

はじめに

山梨県では、「山梨県環境保全型農業基本方針」に基づき、生産性との調和に留意しつつ、土づくりや病害虫の適期防除などを行いつつ化学肥料、化学合成農薬の使用の削減をする環境負荷の低減に配慮した持続性の高い農業生産方式の導入を推進しています。

土壌診断に基づく肥料やたい肥の施用などの適切な土壌管理は、農業の生産性向上や気象変動の影響を受けにくい生産環境を整えるとともに、農耕地のもつ炭素貯留機能や物質循環機能は地球温暖化の防止にも役立ち、ひいては生物多様性の保全にもつながる極めて重要なものであります。

一方で、たい肥の過剰な投入や土壌・作物診断によらない施肥の結果、土壌中の養分過剰や成分の不均衡といった課題も顕在化しております。

このようななかで、県農作物施肥指導基準を改定し、土壌診断に基づく適正施肥や土壌の養分状態の改善に留意した施肥設計について、また、「土づくり」に関する新しい知見を加え、年次経過による品種・作型の追加・見直しを行いました。

本基準によって、農産物の品質向上はもとより適正な施肥による環境保全型農業の推進の一助となりますよう、指導者をはじめ広く関係の方々にご利用いただければ幸いです。

平成23年3月

山梨県農政部長 松村孝典

目 次

はじめに

利用上の留意事項	1
1. 土壌診断基準と対策	
土壌診断のためのサンプリング方法	3
(1) 土壌診断基準	4
(2) 診断項目別の対策	16
(3) 土壌診断システム	25
2. 水田転作における土壌管理	
(1) ほ場条件整備	27
(2) 土壌管理	29
3. 有機物の利用法	
(1) 有機物施用効果	31
(2) 有機物資源の堆肥化技術	33
(3) 堆肥の腐熟程度の判定法	36
(4) 各種堆肥および有機質肥料の特性と利用	39
(5) 有機物の肥効率と有効成分量の求め方	47
(6) 有機質資材からの無機態窒素溶出量推定のためのデータベース	48
4. 施肥指導基準	
(1) 普通作物・特用作物	51
(2) 果樹	69
(3) 野菜	99
(4) 花き	107
(5) 飼料作物	167
(6) 桑	217
5. 養分欠乏・過剰診断の診断と対策	
(1) 養分の欠乏・過剰症状と対策	221
(2) 主な養分障害	226

資料編

6. 肥料及び土壌改良材の成分と特性

(1) 主な単肥の特性	237
(2) 肥料成分表	241
(3) 土壌改良材、培土	250

7. 県内土壌の実態

(1) 農耕地土壌分類	252
(2) 地目別にみた各土壌群の分布実態	255
(3) 地目別にみた農耕地の理化学性の実態	256

8. 土壌・水質の環境基準等

(1) 土壌に関する基準	257
(2) 水質に関する基準	260

9. 土づくり用語の解説

10. 関係法令	277
----------	-----